



《校訓》 明朗 剛健 創造

太田中だより

令和3年6月29日発行 厚岸町立太田中学校 第4号

～めざす生徒像～

自ら考え、共に手を取り、ふるさとの未来をつくる太田の子

- ◆ 自分の考えをもち、自ら進んで学び、創意工夫する生徒 (知)
- ◆ 生命を尊重し、互いの存在を思いやり、協力して活動する生徒 (徳)
- ◆ 自己の心身の健康を保持増進し、体力の向上に努める生徒 (体)

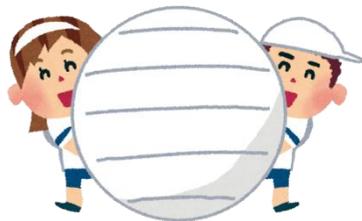
7月の行事予定



日	曜	行事
1	木	委員会
2	金	参観日・懇談会
3	土	
4	日	
5	月	朝会 保護者アンケート配付 町研大会
6	火	
7	水	ALT 水泳学習
8	木	宿泊研修 社会見学
9	金	宿泊研修
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	保育実習
14	水	図書バス ALT 水泳学習 定時退勤日
15	木	委員会
16	金	防犯教室
17	土	北海道みんなの日
18	日	
19	月	朝会 ALT
20	火	
21	水	1学期終業式 職員会議 定時退勤日
22	木	海の日 夏季休業(～8月17日)
23	金	スポーツの日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	レベルアップタイム
28	水	レベルアップタイム
29	木	レベルアップタイム
30	金	レベルアップタイム
31	土	

「晴れ舞台」を支えたもの

校長 沼田 卓二



抜けるような青空の下、おかげをもちまして、今月13日(日)『新たな挑戦 ～輝ける運動会～』をスローガンに掲げ、2年ぶりに開催した太田小中合同運動会を盛会裏に終了することができました。

「熱中症注意報」が出される気温の中、生徒たちは躍動しました。一人ひとりが全力を尽くした競技。保育所の子どもたちや、小学生がおこなう演技と競技へのあたたかい手拍子や拍手。精一杯に紅白旗を振る応援。そして会場アナウンスなどの責任感をもった係活動。そのどれひとつをとっても「学校行事を通して生徒が成長する」「輝ける」姿がそこにはありました。生徒一人ひとりが運動会スローガンを見事に体現していたと思います。

今回の運動会で、生徒の成長した姿を保護者やご家族の皆様方と共に見る事ができました。このことは、学校を預かる者として無上の喜びです。ですが、生徒たちのその“輝ける”姿を支えていたのは、観覧いただいた保護者やご家族の皆様方ではないかと思うのです。ご家族に頑張る姿を見て頂ける喜びや、皆様方の「真心からの拍手」が生徒を勇気づけ、持てる以上の力を発揮できたのだと考えます。

改めて述べるまでもありませんが、学校行事は生徒にとって有意義な教育活動です。学校としても、運動会をどのような形であっても実施できないかと、昨年度より模索してまいりました。その中で、今年2月「第3回太田・片無去地区学校運営協議会」での席上、学校より各委員に「運動会の開催について」ご意見を伺ったところ、『子どもたち(の気持ち)を優先していただきたい』とのご意見を頂戴しました。その後、開催を前提に小中学校で内容等を検討し、競技種目や、参加者及び観覧者の範囲などの対応について協議を重ね、参加者を限定した原案をPTA役員にもご説明し、ご了承をいただき、今回の開催の運びとなった次第です。

今年度は、保育所の子どもたちを含めた小中学校児童生徒の競技を中心とする午前日程での開催となりました。しかし、どのような形であれ、コロナ禍での運動会に挑戦し、開催できたという事実こそ、地域の皆様のご理解とご協力の賜(たまもの)であり、**地域の力＝開拓者魂**が息づいているという証(しょうさ)だと思えます。

今回の運動会は、生徒たちにとって文字どおりの「晴れ舞台」となりました。地域の方々とともにある運動会を開催できる状況が一日も早く訪れることを願い、ご協力を賜りました全ての方々に厚く感謝申し上げます。



「北海道みんなの日」について

7月17日は、「北海道みんなの日(愛称:道みんなの日)」です。北海道の歴史や文化、豊かな自然や風土など、北海道の価値を見つめ直し、誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築きあげることを期する日として、平成29年に制定されました。なお、7月17日は、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が、1869年(明治2年)、明治政府に対し「北加伊道」という名称を提案した日です。

生徒の皆さん。今年の「道みんなの日」は週休日です。北海道に縁の深い人物について触れてはどうでしょう。北海道の先人たちについては『北海道版道徳教材「きたものがたり」～北海道の先人の生き方に学ぶ～』にも取り上げられています。ここに、中学校版に取り上げられている先人の一部を挙げています。皆さんが知っている人はいますか？

- ・伊福部 昭(いふくべ あきら) ・知里 真志保(ちり ましほ)
- ・竹鶴 政孝(たけつる まさたか) ・渡辺 和子(わたなべ かずこ)

【北海道教育委員会のHPで資料を読むこともできます】



今月20日(日)を期限とした緊急事態宣言が解除され、北海道は来月11日(日)までを期間とする「まん延防止等重点措置」に移行しました。宣言の解除は感染収束に向かう出口ではありません。学校としてもこれまで通り感染症対策に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、引き続き、健康観察などへのご協力をお願いいたします。

5月中旬より、今年度から導入されたタブレットの使い方を学ぶ「ICTタイム」を放課後の時間を活用して実施しています。最初の時間ではタブレットの使用ルールを確認し、その後タイピングの練習を行いました。現在、タブレットは宿泊研修の準備や授業でも活用されています。今後さらに様々なことに活用できるよう学校で取り組みを進めています。



6月8日（火）、中体連の壮行会が行われました。一人一人がそれぞれの思いを込めて中体連に向けた意気込みを語ってくれました。その後、生徒会長と校長先生による激励の言葉があり、壮行会は終了しました。

昨年度は開催中止となったため今年度の生徒にとっては、初めての中体連大会、思う存分力を発揮してくれることを期待します。



太田小学校・太田中学校合同運動会

「新たな挑戦～輝ける運動会～」

6月13日（日）、雲一つ無い青空の下、2年ぶりに太田小学校・太田中学校合同運動会が行われました。今年度は、感染症対策のため、観客の制限や応援方法の制限など様々な方のご協力をいただいた中での開催です。

小中学生、そして保育所の子どもたちの競技のみに絞った半日日程でしたが、生徒達は全力で個人、団体種目競技にのぞんでいました。中学生らしくリーダーシップを発揮して運動会を盛り上げてくれました。

ご来場された保護者・ご家族の皆様、暑い中本当にありがとうございました。



紅組、白組それぞれ堂々とした入場行進



躍動感ある100m走



ボールを挟みゴール！



中学生の種目は障害物走 ぐるぐるバット→両足縄跳び



縄跳びの後はPGのクラブでボールを運び



中学生種目 紅白対抗大玉リレー



紅白リレーは抜きつ抜かれつのデッドヒート



結果は紅149-168白で白組の勝利 熱戦が終わったら ノーサイド